

2026年6月4日
SOMPOリスクマネジメント株式会社

SOMPOリスク、サプライチェーンセキュリティ強靱化に向けラインナップ拡充 -数千～数万のサプライヤー管理を最適化。「UpGuard」提供と運用支援サービスを開始～

SOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：中村 隆久、以下「SOMPOリスク」）は、2026年6月4日より、サードパーティリスク管理プラットフォーム「UpGuard（アップガード）」の提供を開始します。

近年、サプライチェーンの多層化・複雑化が進行する中、サプライチェーン全体を俯瞰した広範なリスクマネジメントは喫緊の課題となっています。これに伴い、多くの企業において「数千から数万社におよぶサプライヤーを一元管理し、ガバナンスを強固にしたい」との要望が高まっています。このような要望に応えるため、これまで提供してきたサプライチェーンセキュリティリスク管理プラットフォーム「Panorays（パノレイズ）」に加え、新たに「UpGuard（アップガード）」をラインナップに追加します。

「UpGuard」は、契約時に合意したライセンス枠内での自由なサプライヤー入れ替えに対応しているほか、最上位ライセンスにおいては無制限でのサプライヤー登録が可能です（※1）。多数の取引先を抱える大規模企業にとって、極めて柔軟かつ最適なプラットフォームです。SOMPOリスクは、単なるツールの提供にとどまらず、これまでに培った豊富な知見を活かした運用支援およびサプライヤー向けの対策支援を一貫して提供することで、サプライチェーン全体のセキュリティレベル向上に貢献してまいります。

※1：エンタープライズライセンス

1. 背景

昨今、サプライチェーンの多層化および複雑化に伴い、これを起点とするサイバー攻撃が急増しており、取引先を含めた包括的な対策が不可欠となっています。独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が発表した「情報セキュリティ10大脅威 2026」の組織編（※2）、においても、「サプライチェーンや委託先を狙った攻撃」が第2位に選出されるなど、その脅威は深刻化の一途をたどっており、上流・下流企業間でのセキュリティ水準の格差や、サプライヤーに対する継続的なサポート体制の構築が大きな課題となっています。

こうした中、2027年3月に本格運用が開始される経済産業省主導の「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（以下、SCS評価制度）」は、サプライヤー各社のセキュリティ対策を前向きに後押しする、大きな転換点になることが期待されています。本制度は、共通の基準を使って対策の状況を分かりやすく可視化する仕組みです。これにより、サプライヤーにとっては、日頃から取り組んでいるセキュリティ対策の成果を、取引先に対して客観的にアピールしやすくなるというメリットがあります。

一方で、発注側となる大企業には、数千から数万規模におよぶ多様なサプライヤーの状況を効率的に一元管理するだけでなく、それぞれの実情やペースに合わせた丁寧な対話と、『伴走型』の支援を実現できる、新たなソリューションの導入が求められています。

※ 2 : 情報セキュリティ 10 大脅威 2026 [組織]

<https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2026.html>

2. サードパーティリスク管理プラットフォーム「UpGuard」の主な特徴

「UpGuard」は、優れた機能と柔軟性によって、大企業が直面する複雑なサプライヤーリスク管理の課題を解決するプラットフォームであり、多くの企業から非常に高い評価と信頼を得ています。

① AIによる迅速なリスク評価と即時スキャン結果表示：

サプライヤーのセキュリティ状況を手間なくかつリアルタイムに可視化・把握できます。

② 30種類のアンケートテンプレートと自動化：

アンケートの送付や回答収集のフローを自動化して情報収集の抜け漏れを防ぎ、サプライヤーのセキュリティ体制をより正確に把握します。

③ 効率的で体系的なリスク管理機能：

各サプライヤーのビジネス依存関係に応じて「階層化」「タグ付け」「属性」「ポートフォリオ」機能を活用し、複雑なサイバーリスク管理の課題に対応した体系的なサプライチェーンリスク管理を支援します。

④ サプライヤーの無制限登録（※エンタープライズライセンス）とサプライヤーの自由な入れ替え：

追加コスト不要で柔軟にサプライヤーの入れ替えや管理対象の拡大ができ、柔軟な管理体制の構築を実現します。

⑤ 主要ツールおよび4,000超のアプリとの連携：

Microsoft TeamsやSlack等の標準API連携に加え、Zapier経由で多様なアプリと接続し、業務フローの自動化を促進します。

3. 「運用支援およびサプライヤーへの対策支援サービス」の概要

SOMPORISKは、サプライチェーンリスク管理プラットフォームの導入から定着までを包括的にサポートする「運用支援およびサプライヤーへの対策支援サービス」を提供します。本サービスは「導入準備」「導入支援」「運用支援」の3フェーズで構成されており、プラットフォーム導入時の課題を解消するとともに、多数の委託先を効率的に管理するための継続的な伴走支援を行います。

- Phase 1（導入準備）：プロジェクト計画の策定から、委託先の整理、関係者への説明会、マニュアルやポータルサイトの準備まで、円滑な立ち上げ基盤を構築します。
- Phase 2（導入支援）：システム初期設定やアカウント発行を行い、委託元・委託先へのトレーニングと、初回評価時の問い合わせ対応・督促などをサポートします。

- Phase3（運用支援）：問い合わせ対応や定例会などの基本運用に加え、評価者・サプライヤー双方への具体的な改善アドバイスや、カスタマイズ運用による継続的なレベルアップを支援します。

4. 今後の展望

SOMPOリスクは、本サービスを通じて企業のサプライチェーン全体におけるサイバーリスク低減を支援するとともに、社会全体のセキュリティ水準向上に貢献してまいります。セキュリティパートナーとのアライアンス、サービス連携の協業の強みを活かし、サイバーセキュリティ分野におけるサービスの拡充を進めていく予定です。また、本サービスのさらなる普及と啓発のため、2026年7月下旬にセミナー開催し、その際、特別キャンペーンの告知も行う予定です。

5. SOMPOリスクの取組みと今後の戦略

SOMPOリスクは、2018年から「Panorays」を提供し、主要産業のセキュリティ向上を推進してきました。今後は実績ある「Panorays」に加え、大規模事案に強い「UpGuard」をラインナップに追加し、お客様の規模やニーズに合わせた最適なソリューションを提供します。また、日本語化による導入支援や、評価結果に基づく各サプライヤーへの伴走型の対策強化支援を組み合わせることで、サプライチェーン全体のセキュリティ水準を底上げし、社会全体のサプライチェーン強靱化に貢献します。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社
サイバーセキュリティコンサルティング部 [担当：田嶋]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-6630-4122（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社
マーケティング戦略部 広報担当
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-3500

SOMPOリスクマネジメントについて：

SOMPOリスクマネジメント株式会社は、SOMPOグループの一員として、社会・企業が直面する課題の解決に貢献するリスクマネジメントコンサルティング会社です。経営コンサルティング、リスクエンジニアリング、データドリブン推進、サイバーセキュリティの4事業を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）やサプライチェーンリスク管理、サイバーセキュリティ対策、事業継続（BCM・BCP）、防災・減災など幅広い領域で専門性の高いソリューション・サービスを提供しています。これらのソリューション・サービスを通じ、お客様の「安心・安全・健康」の実現を目指します。